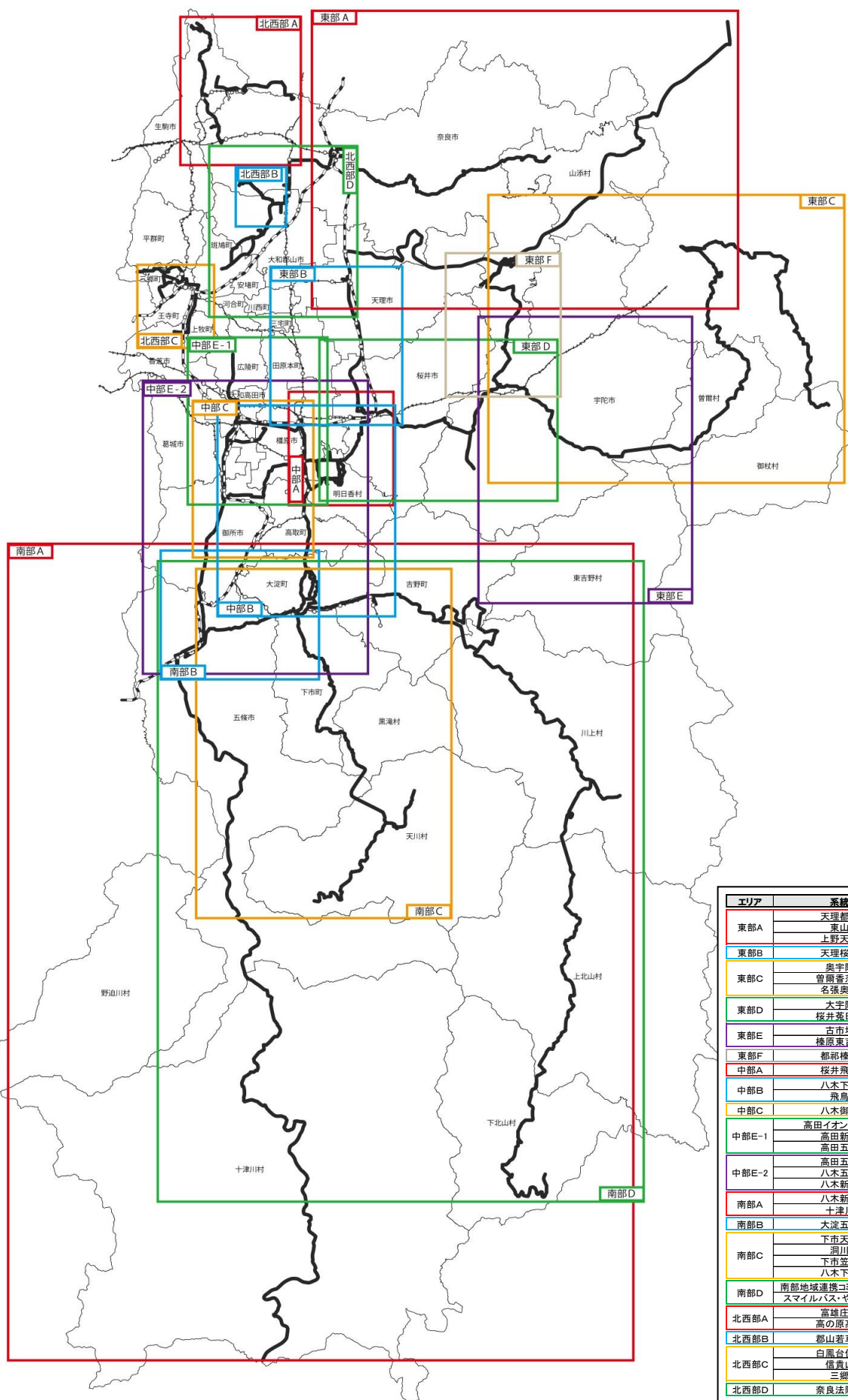


本 編 2

公共交通とまちづくりのデッサン

公共交通とまちづくりのデッサン グループ位置図



エリア	系統名	ページ
東部A	天理都部線	1
	東山線	
	上野天理線	
東部B	天理桜井線	2
東部C	奥宇陀線	3
	曾爾香淳溪線	
	名張奥津線	
東部D	大字陀線	4
東部E	桜井菟田野線	5
	古市境線	
東部F	榛原東吉野線	6
中部A	都祁榛原線	7
中部B	桜井飛鳥線	8
中部C	八木下市線	9
中部E-1	飛鳥線	10
中部E-2	八木御所線	11
南部A	高田イオンモール線	12
南部B	高田新家線	13
南部C	高田五條線	14
	高田五條線	
	高田五條線	
南部D	高田五條線	15
北西部A	高田五條線	16
北西部B	八木新宮線	17
北西部C	十津川線	18
北西部D	大淀五條線	19

路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	グリーンツーリズム等への観光による誘客 地域住民の広域移動の際の高速バスへのアクセス確保
関係市町村	奈良市、天理市、山添村
主な沿線施設	奈良駅、近鉄奈良駅、樺本駅、天理駅、上野市駅、奈良県庁、天理市役所、奈良市都祁行政センター、山添村役場、市立奈良病院、奈良春日病院、天理よろづ相談所病院、奈良女子高校、奈良女子付属中等教育学校、高円高校、添上高校、天理教校 学園高校、天理高校、山辺高校、山辺高校山添分校、東大寺、興福寺、元興寺、春日大社、春日山原始林、八柱神社、フォレストパーク神野山、道の駅針T・R・S
評価指標	■交通手段別分担率(公共交通(鉄道＋バス)と自転車及び徒歩の合計値) 出勤: 49.4% (H22)⇒49.4% (H32) 登校: 92.0% (H22)⇒92.0% (H32) 通院: 43.3% (H22)⇒43.3% (H32) 買物(平日): 45.1% (H22)⇒45.1% (H32) 買物(休日): 28.1% (H22)⇒28.1% (H32) 業務: 31.0% (H22)⇒32.7% (H32) 観光: 60.7% (H22)⇒63.7% (H32) ■外出率: 79.2% (H22)⇒79.2% (H32) ■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率＞路線沿線の人口増加率] 天理都祁線: 43,643人 (H26) ⇄ 奈良市・天理市・山添村: 433,641人 (H26) 上野天理線: 8,505人 (H26) ⇄ 山添村: 3,768人 (H26) 東山線: 39,376人 (H26) ⇄ 奈良市・山添村: 366,490人 (H26) ■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率＞駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率] 奈良駅: 6,403,195人 (H25) ⇄ 奈良市・大和郡山市・山添村・斑鳩町: 482,332人 (H25) 近鉄奈良駅: 11,487,343人 (H25) ⇄ 奈良市・大和郡山市・山添村・斑鳩町: 482,332人 (H25) 天理駅: 3,541,060人 (H25) ⇄ 奈良市・天理市・桜井市・山添村: 493,567人 (H25) ■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス＋タクシー)と自転車及び徒歩の合計値) 奈良駅: 94.8% (H22)⇒94.8% (H32) 近鉄奈良駅: 94.2% (H22)⇒94.7% (H32) 天理駅: 82.0% (H22)⇒82.0% (H32) ■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇

実施事業

事業①	針T・R・Sを拠点とした広域移動の検討
実施内容	針T・R・Sを拠点とした、路線バスや高速バスを利用した広域移動について検討
実施主体	奈良市、山添村、奈良交通、三重交通
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4～H33. 3

事業②	新たなコミュニティバス運行の検討
実施内容	国道山添から名張駅までのコミュニティバスの運行を検討
実施主体	山添村・東豊地域コミュニティバス運行協議会
実施効果	公共交通利用者数の増加・交通空白地の解消
実施期間	H28. 4～H33. 3

事業③	観光客の誘客に向けた交通確保の検討
実施内容	奈良市東部地域への観光の推進について検討
実施主体	奈良市
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4～H33. 3

事業④	通学交通確保の検討
実施内容	県立高等養護学校の分教室が設置される高円高校・山辺高校への通学手段の確保
実施主体	奈良県、奈良交通
実施効果	公共交通利用者の利便性向上
実施期間	H28. 4～H33. 3

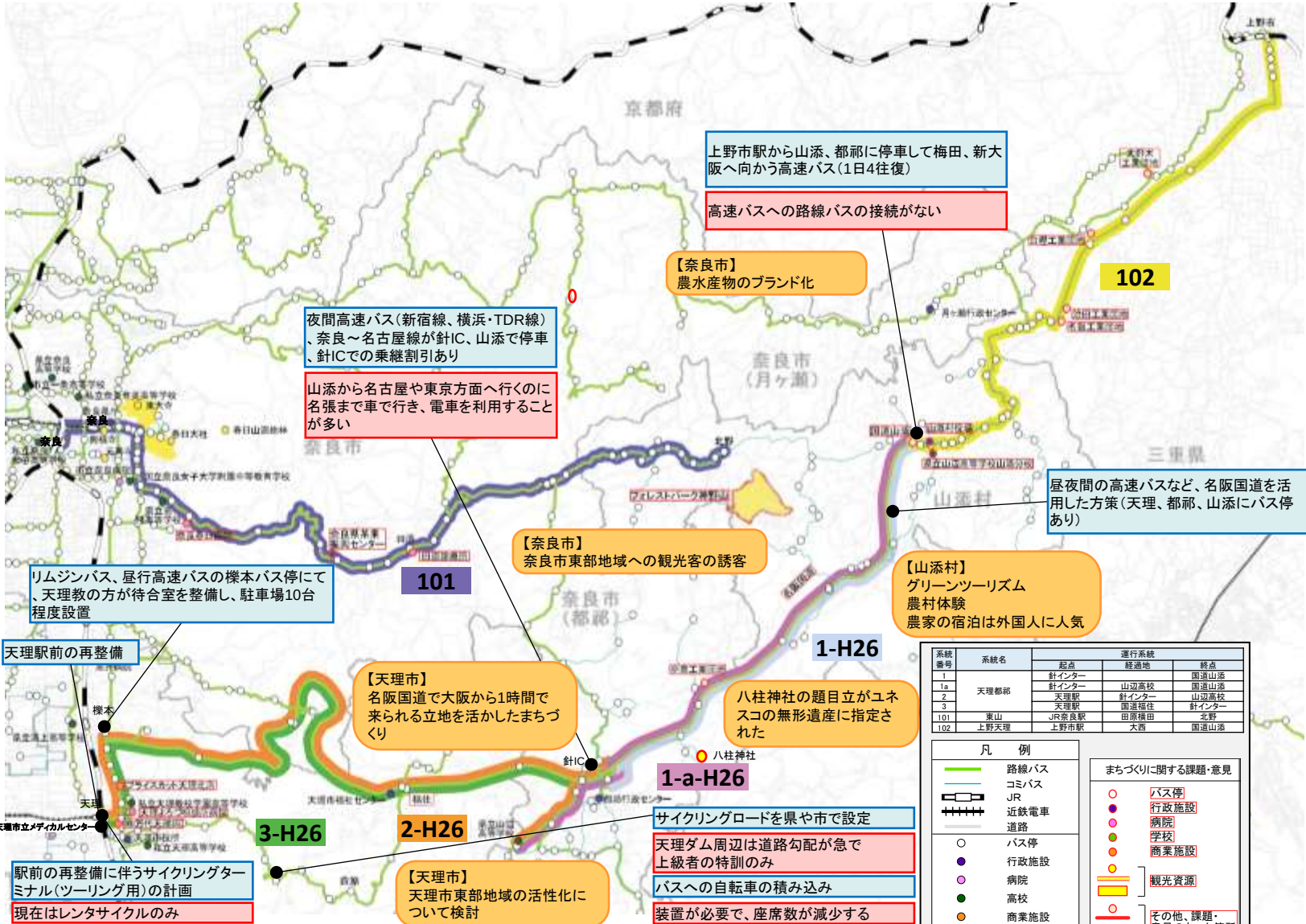
事業⑤	路線運行費補助
実施内容	奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、天理都祁線、東山線、上野天理線の路線運行費を補助
実施主体	奈良県
実施効果	地域公共交通の維持
実施期間	H28. 4～H28. 9(毎年PDCA)

事業⑥	ノンステップバスの導入
実施内容	天理都祁線、東山線にノンステップバスを導入
実施主体	奈良交通
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H28. 4～H33. 3

事業⑦	鉄道駅バリアフリー化
実施内容	近鉄天理駅に内方線付点字ブロックを設置
実施主体	近畿日本鉄道
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H29. 4～H30. 3

事業⑧	全国ICカード共通化
実施内容	SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H28. 春

事業⑨	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者の増加
実施期間	H28. 4～H33. 3



路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	「山の辺の道」への観光による誘客
関係市町村	天理市、桜井市、三宅町、田原本町
主な沿線施設	天理駅、巻向駅、三輪駅、桜井駅、大福駅、天理市役所、桜井総合庁舎、桜井市役所、天理市立メディカルセンター、天理よろづ相談所病院、済生会中和病院、天理大学、天理教校学園高校、天理高校、桜井高校、関西中央高校、山の辺の道、石上神社、念仏寺、天理市トレイルセンター、長岳寺、崇神天皇陵、景行天皇陵、纏向遺跡、大神神社、芝運動公園
評価指標	■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値) 出勤: 31.4% (H22)⇒31.4% (H32) 登校: 93.4% (H22)⇒93.4% (H32) 通院: 35.5% (H22)⇒35.5% (H32) 買物(平日): 29.1% (H22)⇒29.1% (H32) 買物(休日): 15.3% (H22)⇒15.3% (H32) 業務: 22.3% (H22)⇒22.3% (H32) 観光: 41.0% (H22)⇒41.0% (H32) ■外出率: 77.9% (H22)⇒77.9% (H32) ■バスの利用者数(年間乗車人員) [乗車人員の増加率>路線沿線の人口増加率] 天理桜井線: 78,286人 (H26) ⇔ 天理市・桜井市: 125,867人 (H26) ■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員) [乗車人員の増加率>駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率] 天理駅: 3,541,060人 (H25) ⇔ 奈良市・天理市・桜井市・山添村: 493,567人 (H25) 桜井駅: 4,116,514人 (H25) ⇔ 天理市・桜井市・宇陀市・明日香村: 164,740人 (H25) ■鉄道駅の末端交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値) 天理駅: 82.0% (H22)⇒82.0% (H32) 桜井駅: 79.6% (H22)⇒80.3% (H32) ■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇

実施事業

事業①	公共交通の情報提供拡充の検討
実施内容	トレイルセンター等、ハイキング客への公共交通の情報提供箇所・手法の検討
実施主体	天理市、桜井市、奈良交通
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4～H33. 3

事業⑤	鉄道駅バリアフリー化
実施内容	近鉄天理駅に内方線付点字ブロックを設置
実施主体	近畿日本鉄道
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H29. 4～H30. 3

事業②	観光客の誘客に向けた交通確保の検討
実施内容	路線バスを使ったモデルコースを設定してPR
実施主体	天理市、桜井市、三宅町、田原本町、奈良交通
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4～H33. 3

事業⑥	全国ICカード共通化
実施内容	SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H28. 春

事業③	路線運行費補助
実施内容	奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、天理桜井線の路線運行費を補助
実施主体	奈良県
実施効果	地域公共交通の維持
実施期間	H28. 4～H28. 9(毎年PDCA)

事業⑦	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4～H33. 3

事業④	ノンステップバスの導入
実施内容	天理桜井線にノンステップバスを導入
実施主体	奈良交通
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H28. 4～H33. 3

系統番号	系統名	運行系統		
		起点	経過地	終点
4	天理桜井	天理駅	川合東口	桜井駅北口
5		天理駅	粟殿口	桜井駅北口
5a		天理駅	粟殿口・三輪 明神大神神社 この島屋前	桜井駅北口
5b		天理駅	粟殿口・ 天理大学	桜井駅北口

凡 例

路線バス

コミバス

JR

近鉄電車

道路

バス停

行政施設

病院

高校

商業施設

観光資源

その他箇所

系統番号

4-H27

5-H27

5-a-H26

5-b-H27

※→H26はH26.10に変更した系統

まちづくりに関する課題・意見

バス停

行政施設

病院

学校

商業施設

観光資源

その他、課題・意見のあった箇所

過去の路線別検討会議での意見

施策・意向

問題・課題

まちづくりアイデア

【天理市】天理駅を中心に、桜井市、田原本町、大和郡山市等と連携したまちづくり

【天理市】天理駅の団体待合スペースにオーブンカフェの設置を検討

天理駅前広場の整備計画

天理大学経由の系統を新設することにより通学需要の掘り起こし

山の辺の道の観光促進委員会でJR・近鉄・奈良交通の時刻表を入れた分かりやすい地図・パンフレットの作成

【天理市】近隣市町村と連携した定住自立圏構想

バスへの自転車の積み込み

バリアフリー型の中型バスで、スペースが限られる。また座席数が減少する

長岳寺やトレイルセンターで休憩されるハイキング客への公共交通の情報提供

【桜井市】県総合庁舎跡地では、H28年度に福祉・医療と防災拠点として、施設の再配置

【桜井市】買物機能は中和幹線沿い、公共施設は中心地の国道169号沿いに集める

三輪駅で降りられるのでバスの乗車効果は小さい

JR東海の「うましうるわし奈良」キャンペーンで大神神社をとりあげられた

桜井駅南口近辺では、空き家、青空駐車場があり、商店街が衰退しているため、地元と一緒に検討会を開催中

2

路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	「曾爾高原」を中心とした観光による誘客
関係市町村	宇陀市、曾爾村、御杖村
主な沿線施設	榛原駅、名張駅、宇陀市役所、曾爾村役場、名張市役所、宇陀市立病院、榛生昇陽高校、名張西高校、近畿大学工業高校、仏隆寺、奥香落山荘、赤目四十八滝、曾爾高原、姫石の湯
評価指標	■交通手段別分担率(公共交通(鉄道＋バス)と自転車及び徒歩の合計値) 出勤：24.5％(H22)⇒24.5％(H32) 登校：86.4％(H22)⇒86.4％(H32) 通院：15.5％(H22)⇒15.5％(H32) 買物(平日)：15.7％(H22)⇒15.7％(H32) 買物(休日)：11.8％(H22)⇒15.2％(H32) 業務：17.0％(H22)⇒17.0％(H32) 観光：23.1％(H22)⇒43.7％(H32) ■外出率：70.2％(H22)⇒70.2％(H32) ■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率＞路線沿線の人口増加率] 奥宇陀線：16,712人(H26) ⇄ 宇陀市・曾爾村：33,645人(H26) 曾爾香落溪線：9,308人(H26) ⇄ 曾爾村：1,676人(H26) 名張奥津線：14,669人(H26) ⇄ 御杖村：1,872人(H26) ■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率＞駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率] 榛原駅：2,087,415人(H25) ⇄ 奈良市・宇陀市・曾爾村・東吉野村：399,488人(H25) ■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス＋タクシー)と自転車及び徒歩の合計値) 榛原駅：57.0％(H22)⇒57.0％(H32) ■公共交通の利便性満足度：H27からH32にかけて上昇

実施事業

事業①	曾爾高原への路線バス乗入れ検討
実施内容	曾爾高原への路線バス直接乗入れについて、ニーズを含めて検討
実施主体	曾爾村、奈良交通、三重交通
実施効果	来訪者数の増加、利便性の向上
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3

事業②	路線バスのPR
実施内容	路線バスを使ったモデルコースを設定してPR
実施主体	宇陀市、曾爾村、御杖村、奈良交通、三重交通
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3

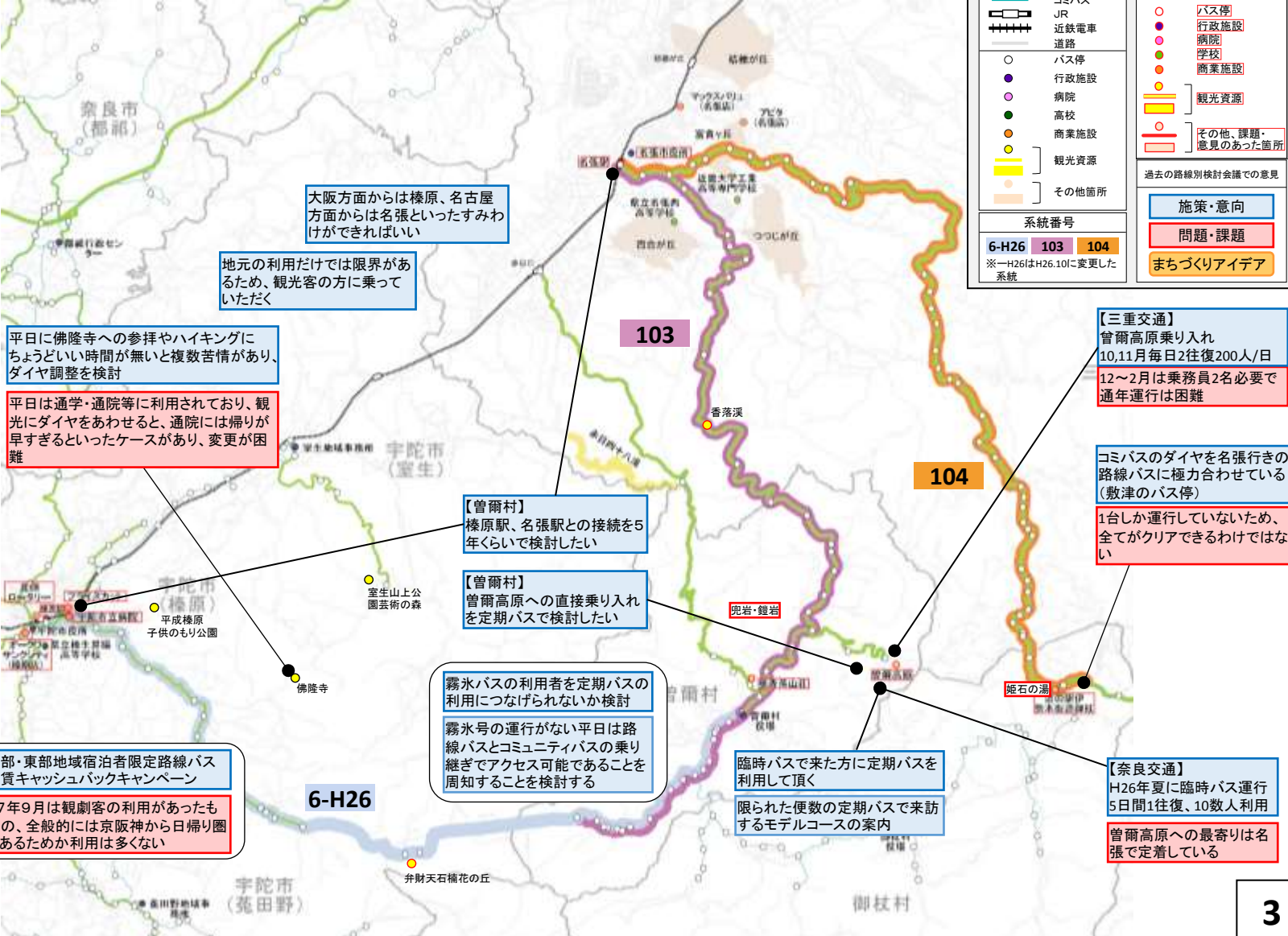
事業③	連携コミュニティバス導入の検討
実施内容	宇陀市、曾爾村、御杖村による路線バス代替連携コミュニティバスの導入を検討
実施主体	宇陀市、曾爾村、御杖村
実施効果	地域公共交通の維持
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3

事業④	南部・東部地域宿泊者限定路線バス運賃キャッシュバックキャンペーン(予定)
実施内容	奈良県南部東部地域宿泊者に、路線バスの運賃を助成
実施主体	奈良県
実施効果	来訪者数の増加、宿泊者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 冬(予定)

事業⑤	路線運行費補助
実施内容	奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、奥宇陀線、曾爾香落溪線、名張奥津線の路線運行費を補助
実施主体	奈良県
実施効果	地域公共交通の維持
実施期間	H28. 4 ～ H28. 9(毎年PDCA)

事業⑥	全国ICカード共通化
実施内容	SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H28. 春

事業⑦	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3



路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	「うだ・アニマルパーク」や「道の駅大宇陀」、桜井市内の観光地を中心とした誘客
関係市町村	桜井市、宇陀市
主な沿線施設	桜井駅、榛原駅、桜井市役所、宇陀市役所、桜井病院、済生会中和病院、宇陀市立病院、関西中央高校、大宇陀高校、榛生昇陽高校、心の森総合福祉公園、大宇陀温泉あきののゆ、うだ・アニマルパーク、宇陀松山重要伝統的建造物郡保存地区、オークワサンクシティ
評価指標	■交通手段別分担率(公共交通(鉄道＋バス)と自転車及び徒歩の合計値) 出勤:30.9%(H22)⇒30.9%(H32) 登校:92.7%(H22)⇒93.9%(H32) 通院:30.8%(H22)⇒30.8%(H32) 買物(平日):26.9%(H22)⇒26.9%(H32) 買物(休日):13.2%(H22)⇒13.2%(H32) 業務:20.2%(H22)⇒20.6%(H32) 観光:36.9%(H22)⇒36.9%(H32) ■外出率:74.9%(H22)⇒74.9%(H32) ■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>路線沿線の人口増加率] 大宇陀線:180,164人(H26) ⇄ 宇陀市:31,969人(H26) 桜井菟田野線:19,365人(H26) ⇄ 桜井市・宇陀市:90,685人(H26) ■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率] 榛原駅:2,087,415人(H25) ⇄ 奈良市・宇陀市・曽爾村・東吉野村:399,488人(H25) 桜井駅:3,640,189人(H25) ⇄ 天理市・桜井市・宇陀市・明日香村:164,740人(H25) ■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス＋タクシー)と自転車及び徒歩の合計値) 榛原駅:57.0%(H22)⇒57.0%(H32) 桜井駅:79.6%(H22)⇒80.3%(H32) ■公共交通の利便性満足度:H27からH32にかけて上昇

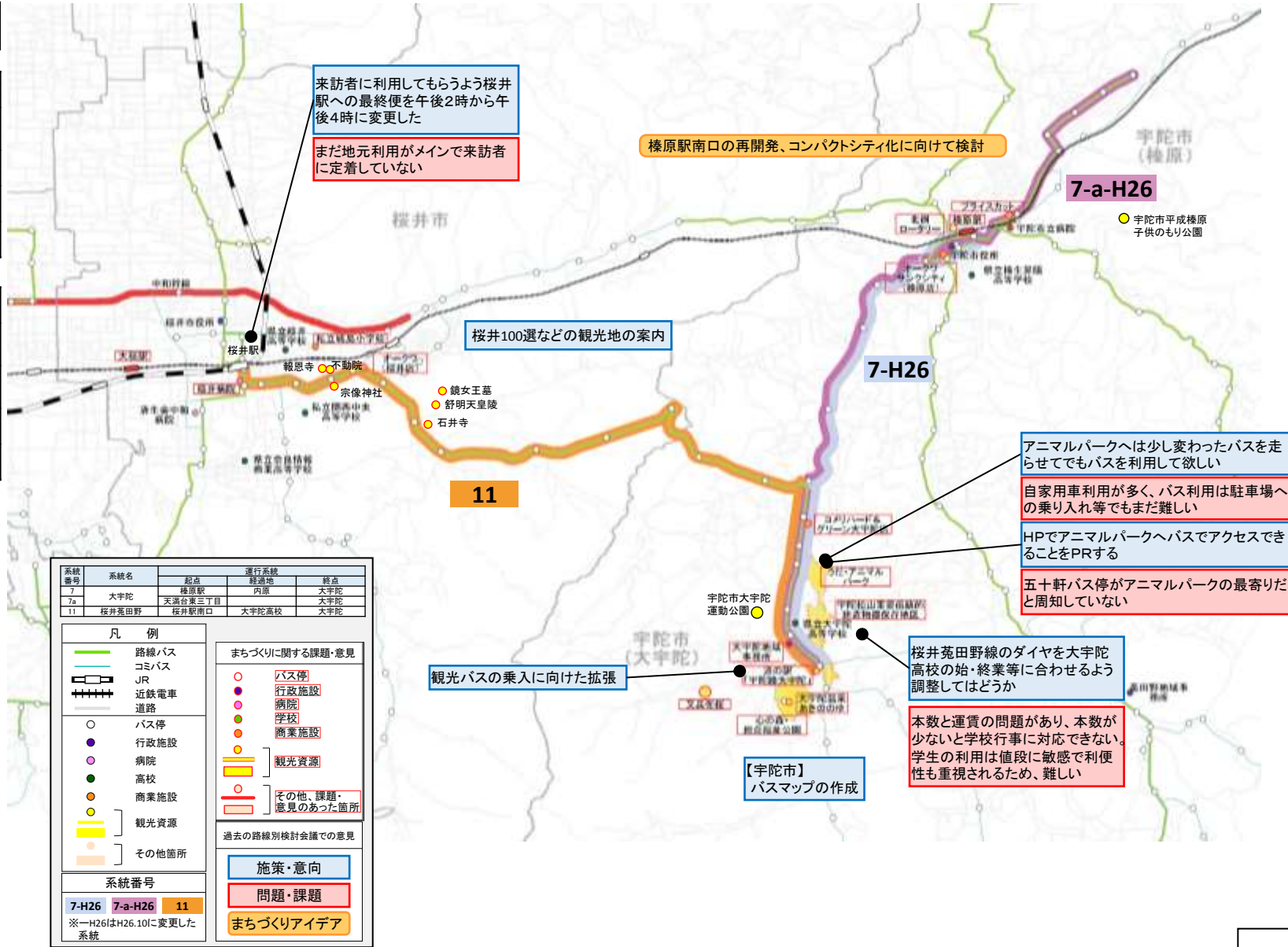
実施事業

事業①	路線バスのPR	事業⑤	全国ICカード共通化
実施内容	ホームページ等でうだ・アニマルパークなど沿線施設へのバスでのアクセス方法をPR	実施内容	SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体	桜井市、宇陀市、奈良県、奈良交通	実施主体	奈良交通
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加	実施効果	利便性の向上
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3	実施期間	H28. 春

事業②	観光客の誘客に向けた検討	事業⑥	公共交通の利用促進
実施内容	沿線の大和さくらい100選や、道の駅宇陀路大宇陀周辺、宇陀松山地区等への誘客の検討	実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	桜井市、宇陀市、奈良交通	実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加	実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3	実施期間	H28. 4 ～ H33. 3

事業③	路線運行費補助
実施内容	奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、桜井菟田野線の路線運行費を補助
実施主体	奈良県
実施効果	地域公共交通の維持
実施期間	H28. 4 ～ H28. 9(毎年PDCA)

事業④	ノンステップバスの導入
実施内容	大宇陀線、桜井菟田野線にノンステップバスを導入
実施主体	奈良交通
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3



路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	「高見山」の霧氷見学などへの誘客
関係市町村	宇陀市、東吉野村
主な沿線施設	榛原駅、宇陀市役所、菟田野地域事務所、東吉野村役場、宇陀市菟田野産業復興センター、奈良県高原農業復興センター、宇陀市立病院、榛生昇陽高校、奈良カエデの郷ひらら、高見山、宇陀水分神社、オークワサンクシティ
評価指標	■交通手段別分担率(公共交通(鉄道＋バス)と自転車及び徒歩の合計値) 出勤:26.2%(H22)⇒26.2%(H32) 登校:88.4%(H22)⇒88.4%(H32) 通院:19.0%(H22)⇒19.0%(H32) 買物(平日):16.2%(H22)⇒16.2%(H32) 買物(休日):12.2%(H22)⇒15.6%(H32) 業務:18.4%(H22)⇒18.4%(H32) 観光:29.6%(H22)⇒50.1%(H32) ■外出率:70.2%(H22)⇒70.2%(H32) ■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率＞路線沿線の人口増加率] 古市場線:52,713人(H26) ⇔ 宇陀市:31,969人(H26) 榛原東吉野線:23,637人(H26) ⇔ 宇陀市・東吉野村:33,861人(H26) ■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率＞駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率] 榛原駅:2,087,415人(H25) ⇔ 奈良市・宇陀市・曽爾村・東吉野村:399,488人(H25) ■鉄道駅の末端交通の分担率(公共交通(バス＋タクシー)と自転車及び徒歩の合計値) 榛原駅:57.0%(H22)⇒57.0%(H32) ■公共交通の利便性満足度:H27からH32にかけて上昇

実施事業

事業①	路線バスのPR
実施内容	路線バスを使ったモデルコースを設定してPR
実施主体	宇陀市、東吉野村、奈良交通
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3

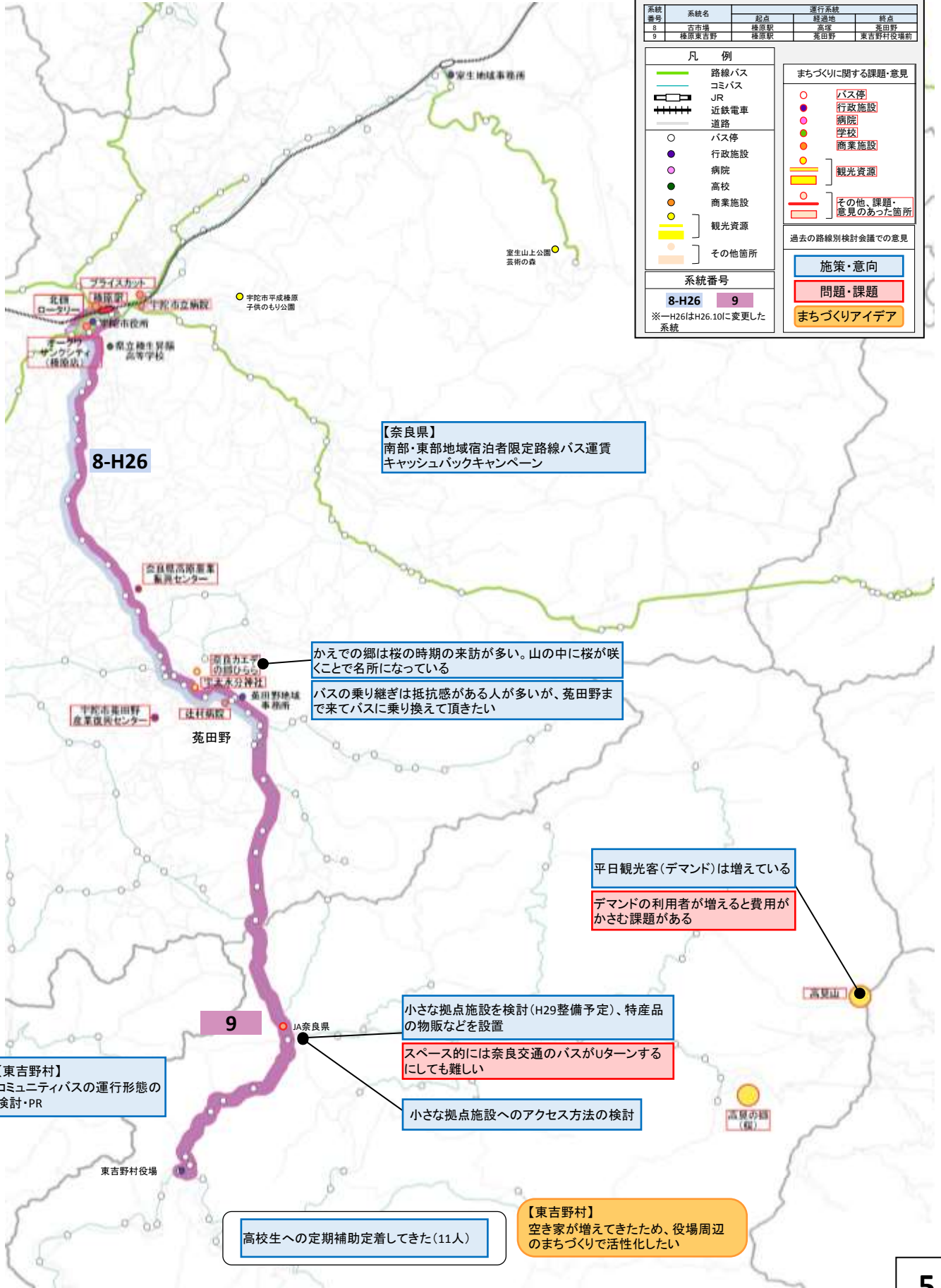
事業⑤	全国ICカード共通化
実施内容	SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H28. 春

事業②	南部・東部地域宿泊者限定路線バス運賃キャッシュバックキャンペーン(予定)
実施内容	奈良県南部東部地域宿泊者に、路線バスの運賃を助成
実施主体	奈良県
実施効果	来訪者数の増加、宿泊者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 冬(予定)

事業⑥	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3

事業③	路線運行費補助
実施内容	奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、榛原東吉野線の路線運行費を補助
実施主体	奈良県
実施効果	地域公共交通の維持
実施期間	H28. 4 ～ H28. 9(毎年PDCA)

事業④	ノンステップバスの導入
実施内容	古市場線、榛原東吉野線にノンステップバスを導入
実施主体	奈良交通
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3



路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	「榛原駅」を生活圏とする住民に対する利用促進
関係市町村	奈良市、宇陀市
主な沿線施設	榛原駅、宇陀市役所、桜井警察署宇陀警察庁舎、宇陀市総合運動場、奈良県広域消防組合宇陀消防署、榛生昇陽高校、宇陀市立病院、都祁行政センター、山辺高校、交流センター、道の駅針T・R・S、奈良県立野外活動センター、オークワサンクシティ
評価指標	■交通手段別分担率（公共交通（鉄道＋バス）と自転車及び徒歩の合計値） 出勤：51.9％（H22）⇒51.9％（H32） 買物（平日）：46.2％（H22）⇒46.2％（H32） 業務：31.6％（H22）⇒34.9％（H32） 登校：91.7％（H22）⇒91.7％（H32） 買物（休日）：28.9％（H22）⇒28.9％（H32） 観光：60.8％（H22）⇒67.7％（H32） 通院：43.4％（H22）⇒43.4％（H32） ■外出率：78.6％（H22）⇒78.6％（H32） ■バスの利用者数（年間乗車人員）[乗車人員の増加率＞路線沿線の人口増加率] 都祁榛原線：47,877人（H26） ⇄ 奈良市・宇陀市：394,691人（H26） ■鉄道駅の利用者数（年間乗車人員）[乗車人員の増加率＞駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率] 榛原駅：2,087,415人（H25） ⇄ 奈良市・宇陀市・曽爾村・東吉野村：399,488人（H25） ■鉄道駅の端末交通の分担率（公共交通（バス＋タクシー）と自転車及び徒歩の合計値） 榛原駅：57.0％（H22）⇒57.0％（H32） ■公共交通の利便性満足度： H27からH32にかけて上昇

実施事業

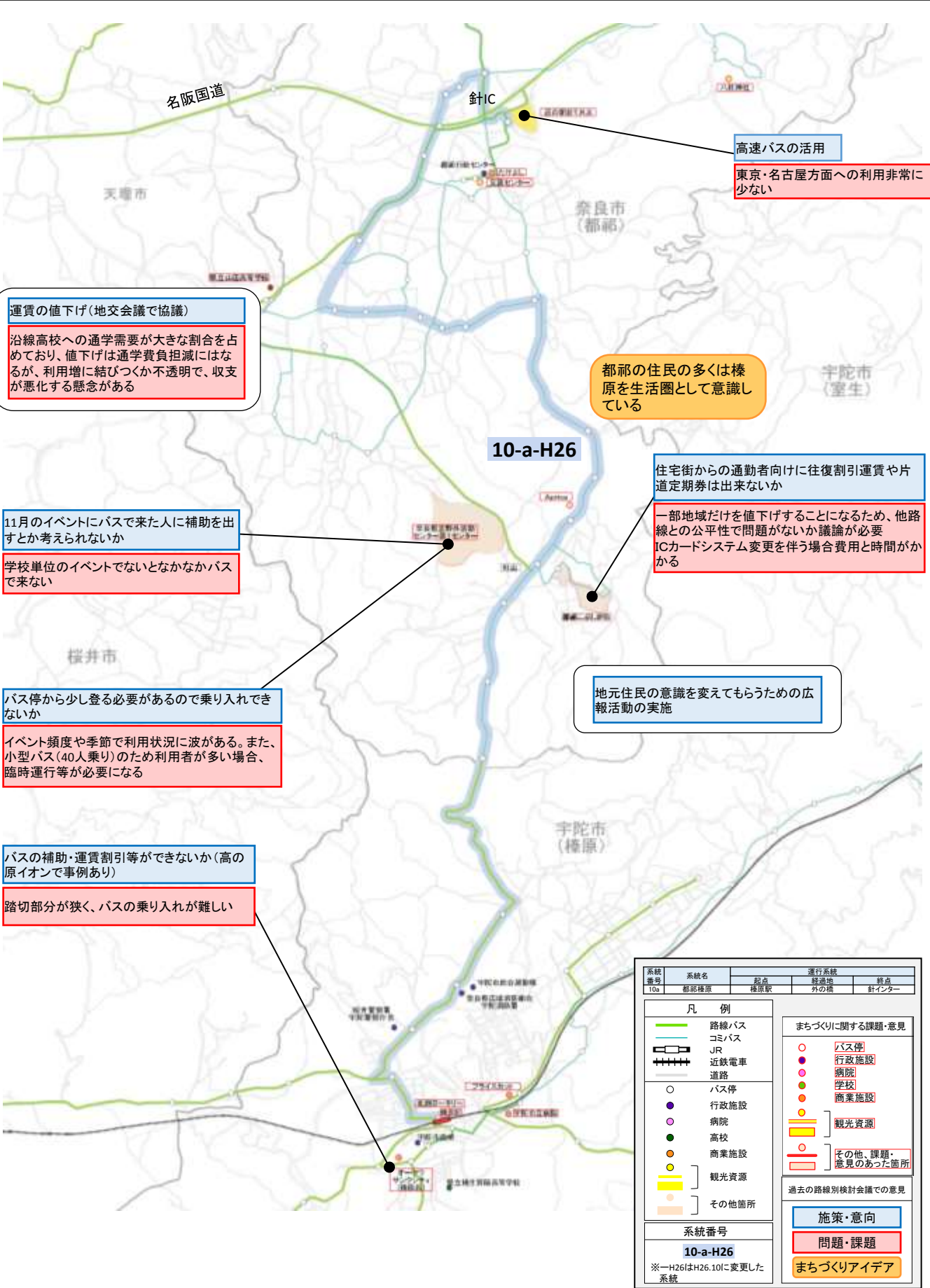
事業①	広報活動の実施
実施内容	地域住民の意識を変えるため、県・市等が連携し、関係者一体となって利用促進の広報に取り組む
実施主体	奈良市、宇陀市、奈良県、奈良交通
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3

事業⑤	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3

事業②	路線運行費補助
実施内容	奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、都祁榛原線の路線運行費を補助
実施主体	奈良県
実施効果	地域公共交通の維持
実施期間	H28. 4 ～ H28. 9（毎年PDCA）

事業③	ノンステップバスの導入
実施内容	車両状況や道路状況を見据えながら、都祁榛原線に低床車両を導入
実施主体	奈良交通
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3

事業④	全国ICカード共通化
実施内容	SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H28. 春



路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	「キトラ公園（H28秋）」や「石舞台」、「オーベルジュ」等への観光による誘客
関係市町村	桜井市、明日香村
主な沿線施設	桜井駅、済生会中和病院、安倍文殊院、山田寺跡、岡寺、飛鳥藍染織館、石舞台古墳、飛鳥資料館、県立万葉文化館、なら食と農の魅力創造国際大学校、オーベルジュ・ド・ぶれさんず桜井
評価指標	■交通手段別分担率（公共交通（鉄道＋バス）と自転車及び徒歩の合計値） 出勤：32.0％（H22）⇒32.0％（H32） 登校：94.1％（H22）⇒95.9％（H32） 買物（平日）：29.7％（H22）⇒29.7％（H32） 買物（休日）：13.3％（H22）⇒13.3％（H32） 業務：20.6％（H22）⇒20.6％（H32） 観光：37.9％（H22）⇒37.9％（H32） ■外出率：77.0％（H22）⇒77.0％（H32） ■バスの利用者数（年間乗車人員）〔乗車人員の増加率＞路線沿線の人口増加率〕 桜井飛鳥線：10,260人（H26） ⇨ 桜井市・明日香村：64,259人（H26） ■鉄道駅の利用者数（年間乗車人員）〔乗車人員の増加率＞駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率〕 桜井駅：4,116,514人（H25） ⇨ 天理市・桜井市・宇陀市・明日香村：164,740人（H25） ■鉄道駅の端末交通の分担率（公共交通（バス＋タクシー）と自転車及び徒歩の合計値） 桜井駅：79.6％（H22）⇒80.3％（H32） ■公共交通の利便性満足度：H27からH32にかけて上昇

実施事業

事業①	観光地図によるバスの利用促進
実施内容	観光地図を作成しバスの利用を促進
実施主体	桜井市
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3

事業②	周遊切符の検討
実施内容	インバウンド向けに周遊切符を作成し英語版マップとあわせて、観光案内施設等での配布を検討
実施主体	桜井市
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ～ H29. 3

事業③	多言語案内看板の検討
実施内容	桜井駅への各観光施設への交通手段を示す多言語案内看板の設置を検討
実施主体	桜井市
実施効果	利便性の向上
実施期間	H28. 4 ～ H29. 3

事業④	オーベルジュへのコミュニティバスの乗入れ
実施内容	オーベルジュ・ド・ぶれさんず桜井へコミュニティバスを乗入れ（実証実験を踏まえたPDCAサイクル）
実施主体	桜井市
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加、ニーズの把握
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3

事業⑤	フリー乗車券の検討
実施内容	インバウンド向けに明日香村内周遊バスフリー乗車券を作成し、観光施設等で販売
実施主体	明日香村・奈良交通
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3

事業⑥	通学アクセスの検討
実施内容	なら食と農の魅力創造国際大学校への通学アクセスの検討
実施主体	奈良県、奈良交通
実施効果	大学校へのアクセス利便性向上、公共交通の利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3

事業⑦	バス待ち環境の整備
実施内容	石舞台周辺のバス待ち環境を整備
実施主体	明日香村
実施効果	快適性の向上、安全性の向上
実施期間	H28. 4 ～ H29. 3

事業⑧	新たな路線バスの運行
実施内容	観光地を經由し、吉野下千本駐車場と大和八木駅を結ぶ路線バスを多客期に運行（H27.11～）
実施主体	吉野大峯ケーブル自動車
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3（H27. 11より実施）

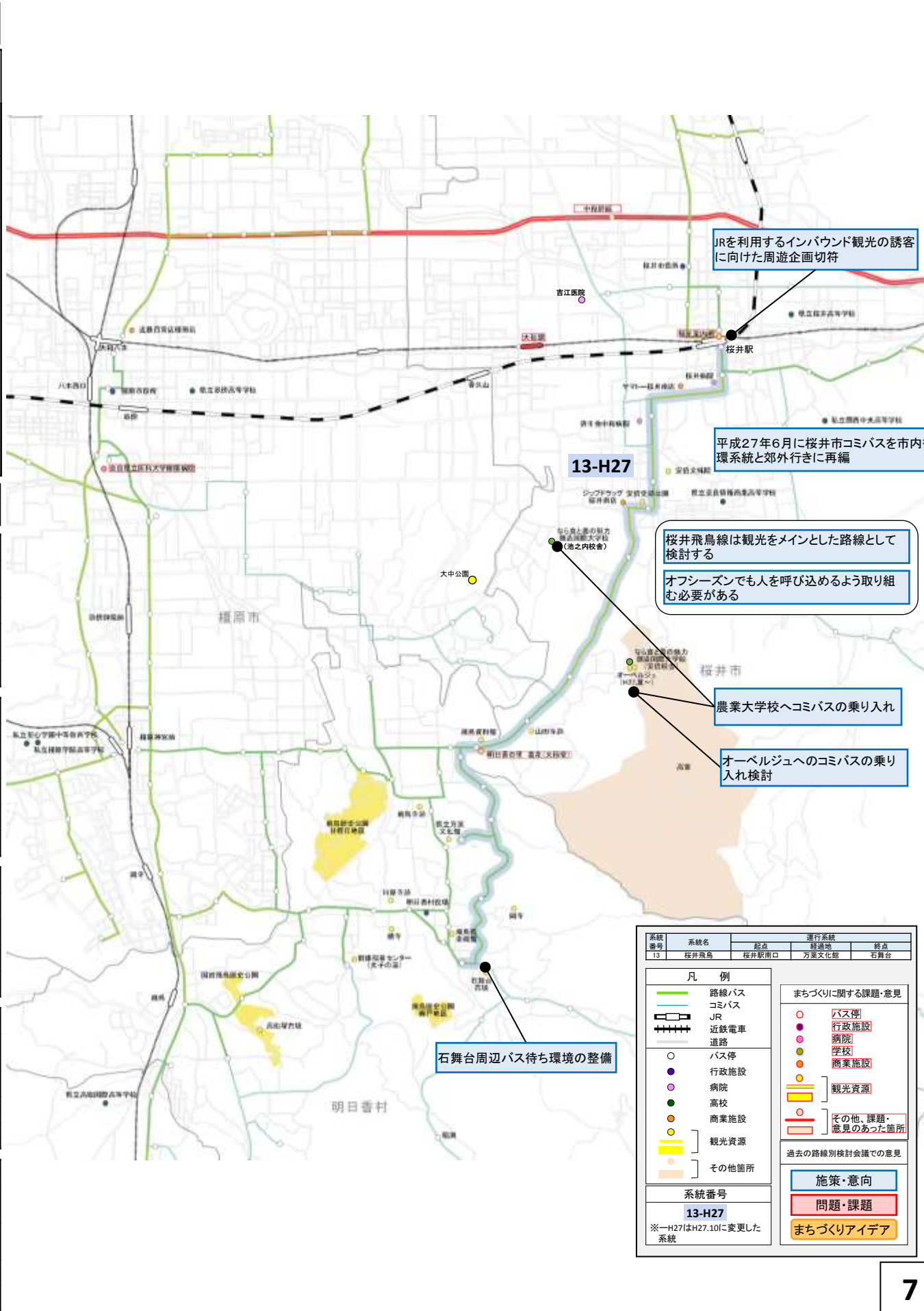
事業⑨	路線バスのPR
実施内容	奈良交通の宣伝媒体・広報活動によるPR
実施主体	奈良交通
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3

事業⑩	路線運行費補助
実施内容	奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、桜井飛鳥線の路線運行費を補助
実施主体	奈良県
実施効果	地域公共交通の維持
実施期間	H28. 4 ～ H28. 9（毎年PDCA）

事業⑪	ノンステップバスの導入
実施内容	桜井飛鳥線のノンステップバスを継続
実施主体	奈良交通
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3

事業⑫	全国ICカード共通化
実施内容	SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H28. 春

事業⑬	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3



系統番号	系統名	運行系統		
13	桜井飛鳥	起点	経路地	終点
		桜井駅南口	万葉文化館	石舞台

凡例

路線バス

コミバス

JR

近鉄電車

道路

バス停

行政施設

病院

高校

商業施設

観光資源

その他箇所

まちづくりに関する課題・意見

バス停

行政施設

病院

学校

商業施設

観光資源

その他、課題・意見のあった箇所

過去の路線別検討会議での意見

施策・意向

問題・課題

まちづくりアイデア

系統番号

13-H27

※—H27はH27.10に変更した系統

7

路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	医大病院へのアクセス等、生活交通の確保 「キトラ公園(H28秋)」、「石舞台古墳」等、明日香村内の観光施設への誘客
関係市町村	橿原市、高取町、明日香村、大淀町
主な沿線施設	大和八木駅、八木西口駅、畝傍駅、畝傍御陵前駅、橿原神宮前駅、岡寺駅、飛鳥駅、壺阪山駅、下市口駅、大淀バスセンター、橿原市役所、明日香村役場、高取町役場、大淀町役場、かしはら万葉ホール、橿原市立図書館、橿原市中央体育館、奈良県立医科大学付属病院、高取国際高校、大淀高校、飛鳥資料館、県立万葉文化館、石舞台古墳、橘寺、高松塚古墳、道の駅・吉野路大淀iセンター、近鉄百貨店橿原店、ライフ大淀店
評価指標	■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値) 出勤:37.2%(H22)⇒37.2%(H32) 登校:93.1%(H22)⇒93.1%(H32) 通院:36.5%(H22)⇒36.5%(H32) 買物(平日):33.3%(H22)⇒33.3%(H32) 買物(休日):18.6%(H22)⇒18.6%(H32) 業務:24.9%(H22)⇒27.6%(H32) 観光:38.4%(H22)⇒38.4%(H32) ■外出率:79.4%(H22)⇒79.4%(H32) ■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>路線沿線の人口増加率] 八木下市線:34,115人(H26) ⇔ 橿原市・高取町・明日香村・大淀町・下市町:162,808人(H26) 飛鳥線:86,989人(H26) ⇔ 橿原市・明日香村:130,893人(H26) ■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率] 大和八木駅: 6,764,828人(H25) ⇔ 大和高田市・橿原市・五條市・御所市・葛城市・高取町・明日香村・大淀町・十津川村:325,635人(H25) 橿原神宮前駅:3,737,156人(H25) ⇔ 橿原市・御所市・高取町・明日香村・大淀町:185,998人(H25) 飛鳥駅:443,388人(H25) ⇔ 橿原市・高取町・明日香村・大淀町:157,189人(H25) 壺阪山駅:255,422人(H25) ⇔ 橿原市・高取町・明日香村・大淀町:157,189人(H25) 下市口駅:658,169人(H25) ⇔ 橿原市・高取町・明日香村・大淀町・下市町・黒滝村・天川村:165,879人(H25) ■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値) 大和八木駅:89.6%(H22)⇒89.6%(H32) 橿原神宮前駅:82.5%(H22)⇒83.1%(H32) 飛鳥駅:91.7%(H22)⇒96.6%(H32) 壺阪山駅:68.1%(H22)⇒68.1%(H32) 下市口駅:56.4%(H22)⇒56.4%(H32) ■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇

実施事業

事業①	飛鳥駅への路線バス乗入れの検討
実施内容	地域の玄関口である飛鳥駅の結節点機能強化として八木下市線の乗入れを検討
実施主体	明日香村、奈良交通
実施効果	利便性の向上、安全性の向上
実施期間	H28. 4 ～ H29. 3

事業⑤	村内交通の実証運行
実施内容	明日香村内交通の実証運行を実施
実施主体	明日香村
実施効果	利便性の向上、ニーズの把握
実施期間	H28. 4 ～ H29. 3

事業⑥	2人乗りEVレンタルサービス
実施内容	超小型モビリティの導入と走行エリア拡大。貸出案内所MICHIMOステーションの整備 鉄道駅(橿原神宮前駅、飛鳥駅)に事業拠点を整備し、超小型モビリティの機動性、周遊性から飛鳥地方の観光客来訪者の増加を目指す
実施主体	明日香村、高取町、橿原市(飛鳥情報交通協議会)
実施効果	来訪者の増加、地域公共交通の活性化
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3(H26. 10より実施)

事業③	フリー乗車券の検討
実施内容	インバウンド向けに明日香村内周遊バスフリー乗車券を作成し、観光施設等で販売
実施主体	明日香村・奈良交通
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3

事業④	駅前広場の整備
実施内容	壺阪山駅の駅前広場を整備
実施主体	高取町
実施効果	利便性の向上
実施期間	H28年度 ～ H30. 3

事業⑦	新たな路線バスの運行
実施内容	橿原神宮前駅～イオンモール橿原、橿原神宮前駅～御所IC付近の路線バスを運行
実施主体	奈良交通、橿原市地域公共交通会議
実施効果	公共交通利用者の増加、利便性の向上
実施期間	H28. 4 ～ H29. 3(毎年PDCA)

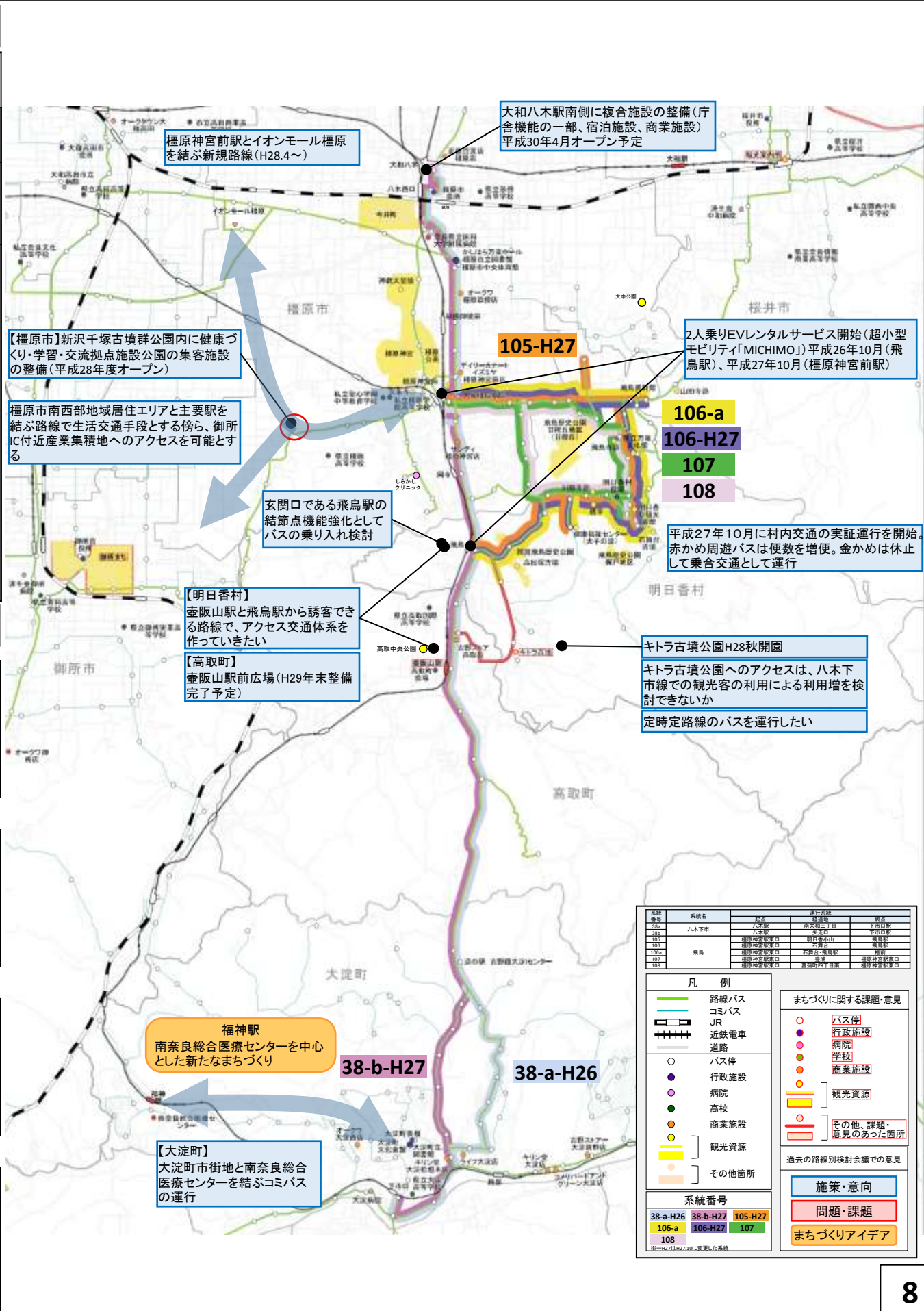
事業⑧	新たな路線バスの運行
実施内容	観光地を経由し、吉野下千本駐車場と大和八木駅を結ぶ路線バスを多客期に運行
実施主体	吉野大峯ケーブル自動車
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H27. 11 ～ H33. 3

事業⑨	コミュニティバスの再編
実施内容	南奈良総合医療センターの開院にあわせて、コミュニティバスを再編
実施主体	大淀町
実施効果	病院へのアクセス確保、利便性の向上
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3

事業⑩	路線運行費補助
実施内容	奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、八木下市線の路線運行費を補助
実施主体	奈良県
実施効果	地域公共交通の維持
実施期間	H28. 4 ～ H28. 9(毎年PDCA)

事業⑪	全国ICカード共通化
実施内容	SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H28. 春

事業⑫	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3



路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	沿線の高校や御所IC周辺へのアクセス確保
関係市町村	橿原市、御所市、高取町
主な沿線施設	大和八木駅、八木西口駅、畝傍駅、畝傍御陵前駅、橿原神宮前駅、玉手駅、御所駅、近鉄御所駅、橿原市役所、御所市役所、奈良県立医科大学附属病院、済生会御所病院、橿原学院高校、橿原高校、聖心学園中等教育学校、御所実業高校、青翔高校、新沢千塚資料館、久米寺、水平社博物館、近鉄百貨店橿原店
評価指標	■交通手段別分担率(公共交通(鉄道＋バス)と自転車及び徒歩の合計値) 出勤: 37.1% (H22)⇒37.1% (H32) 登校: 93.3% (H22)⇒93.3% (H32) 通院: 35.7% (H22)⇒35.7% (H32) 買物(平日): 33.8% (H22)⇒33.8% (H32) 買物(休日): 19.1% (H22)⇒19.1% (H32) 業務: 25.2% (H22)⇒28.0% (H32) 観光: 43.9% (H22)⇒43.9% (H32) ■外出率: 79.1% (H22)⇒79.1% (H32) ■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率＞路線沿線の人口増加率] 八木御所線: 32,664人 (H26) ⇔ 橿原市・御所市・高取町: 160,790人 (H26) ■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率＞駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率] 大和八木駅: 6,764,828人 (H25) ⇔ 大和高田市・橿原市・五條市・御所市・葛城市・高取町・明日香村・大淀町・十津川村: 325,635人 (H25) 橿原神宮前駅: 3,737,156人 (H25) ⇔ 橿原市・御所市・高取町・明日香村・大淀町: 185,998人 (H25) 近鉄御所駅: 818,164人 (H25) ⇔ 大和高田市・橿原市・五條市・御所市・葛城市・高取町・十津川村: 301,415人 (H25) ■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス＋タクシー)と自転車及び徒歩の合計値) 大和八木駅: 89.6% (H22)⇒89.6% (H32) 橿原神宮前駅: 82.5% (H22)⇒83.1% (H32) 近鉄御所駅: 74.9% (H22)⇒74.9% (H32) ■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇

実施事業

事業①	新たな路線バスの運行
実施内容	橿原神宮前駅～イオンモール橿原、橿原神宮前～御所IC付近の路線バスを運行
実施主体	奈良交通、橿原市地域公共交通会議
実施効果	公共交通利用者数の増加、利便性の向上
実施期間	H28. 4 ～ H29. 3(毎年PDCA)

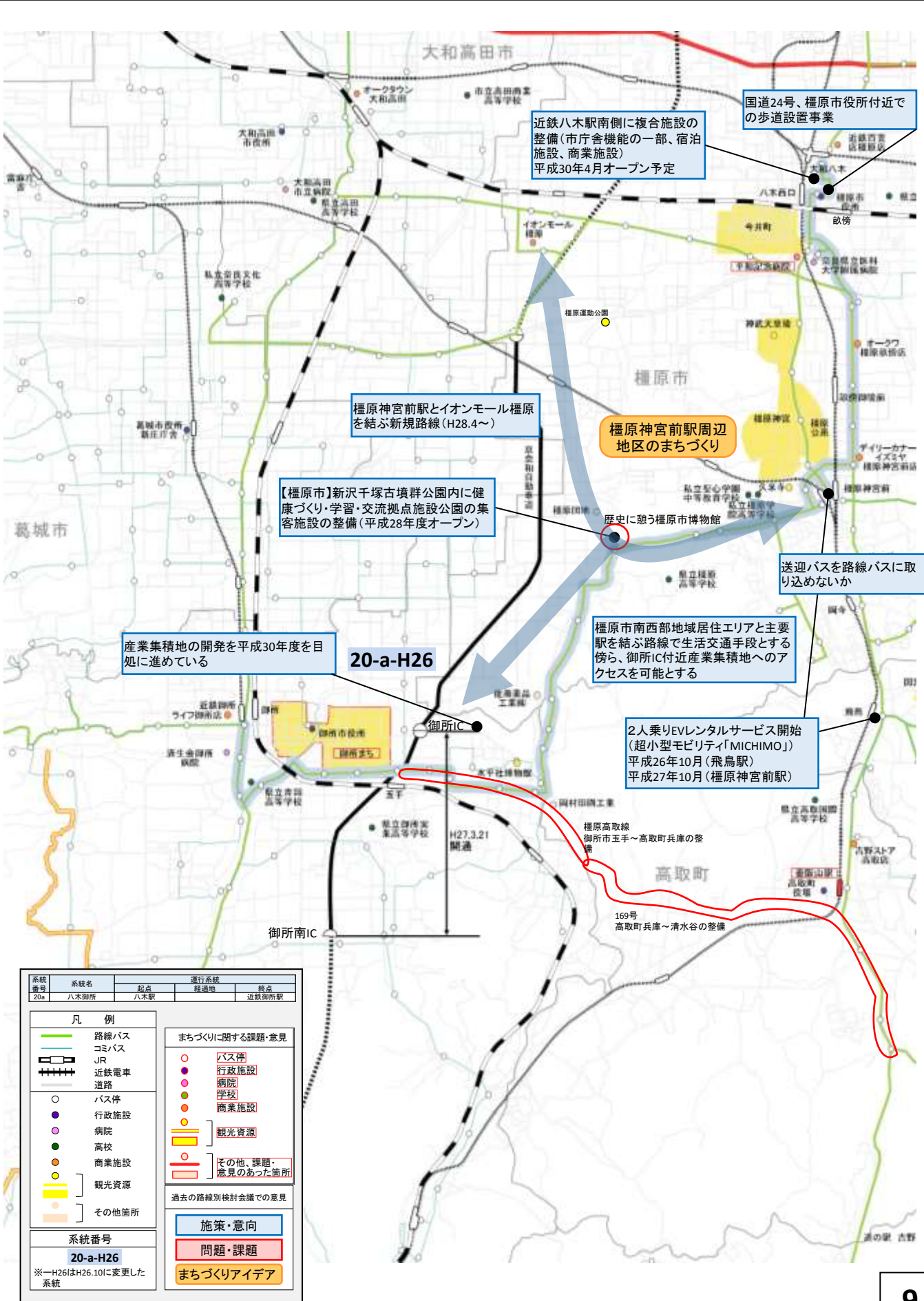
事業②	路線運行費補助
実施内容	奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、八木御所線の路線運行費を補助
実施主体	奈良県
実施効果	地域公共交通の維持
実施期間	H28. 4 ～ H28. 9(毎年PDCA)

事業③	ノンステップバスの導入
実施内容	八木御所線にノンステップバスを導入
実施主体	奈良交通
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3

事業④	鉄道駅のバリアフリー化
実施内容	近鉄御所駅にスロープを設置し段差を解消
実施主体	御所市、近畿日本鉄道
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H29. 4 ～ H30. 3

事業⑤	全国ICカード共通化
実施内容	SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H28. 春

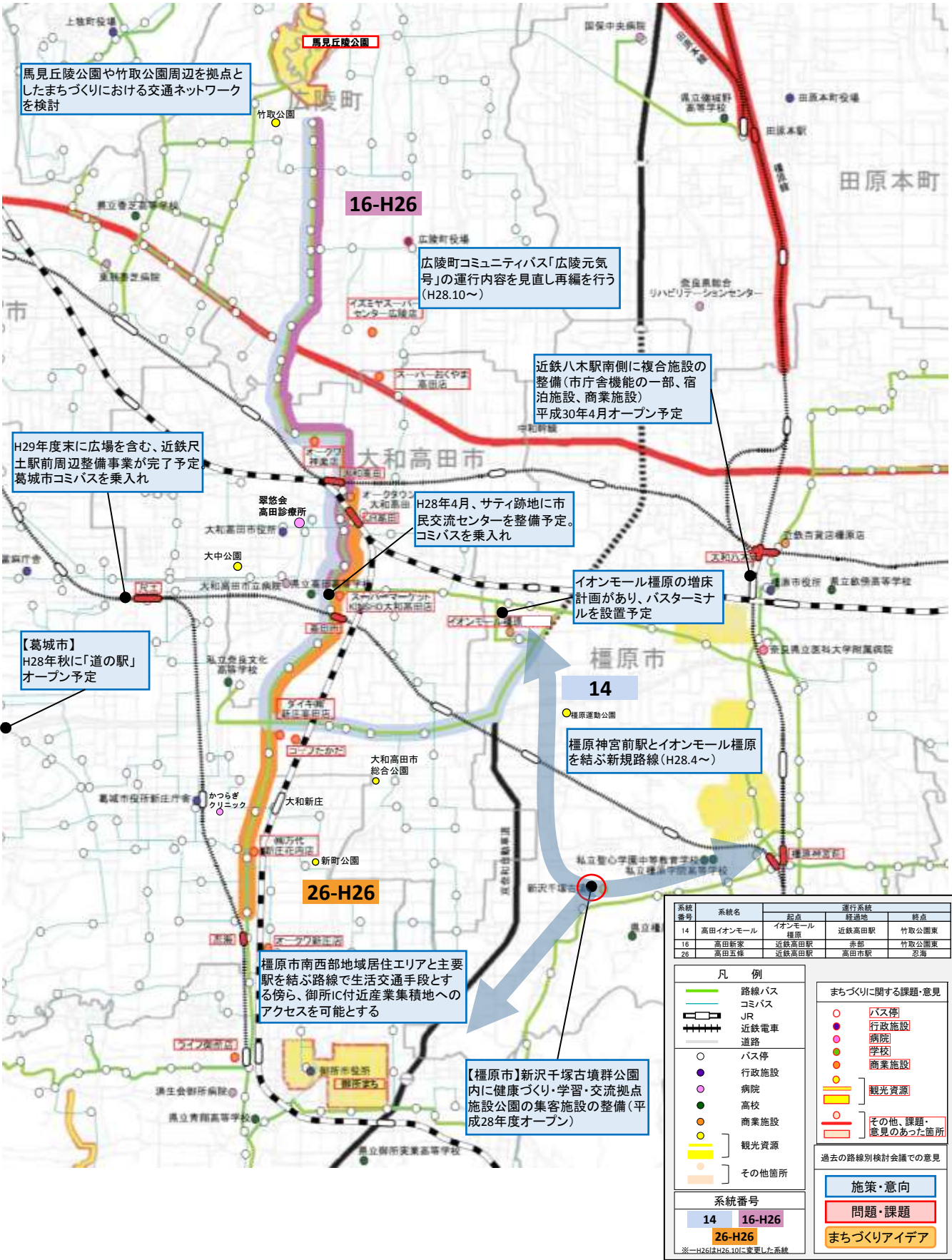
事業⑥	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3



路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	駅前再開発でのバス乗り入れによる交通結節機能強化 大規模商業施設へのアクセス拡充 新規施設へのアクセス確保
関係市町村	大和高田市、橿原市、葛城市、広陵町
主な沿線施設	大和高田駅、高田駅、尺土駅、高田市駅、忍海駅、大和新庄駅、大和高田市役所、市民交流センター、大和高田市立病院、高田高校、奈良文化高校、馬見丘陵公園、竹取公園、イオンモール橿原
評価指標	■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値) 出勤:40.7%(H22)⇒40.7%(H32) 登校:93.9%(H22)⇒93.9%(H32) 通院:38.2%(H22)⇒38.2%(H32) 買物(平日):37.5%(H22)⇒37.5%(H32) 買物(休日):20.7%(H22)⇒20.7%(H32) 業務:27.1%(H22)⇒32.0%(H32) 観光:43.9%(H22)⇒44.2%(H32) ■外出率:79.7%(H22)⇒79.7%(H32) ■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>路線沿線の人口増加率] 高田イオンモール線:114,560人(H26) ⇔ 大和高田市・橿原市・広陵町:224,969人(H26) 高田新家線:56,087人(H26) ⇔ 大和高田市・広陵町:99,619人(H26) 高田五條線:144,206人(H26) ⇔ 大和高田市・五條市・御所市・葛城市:162,693人(H26) ■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率] 大和高田駅:3,287,243人(H25) ⇔ 大和高田市・橿原市・五條市・御所市・葛城市・広陵町:323,603人(H25) 尺土駅:892,568人(H25) ⇔ 大和高田市・葛城市:102,871人(H25) ■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値) 大和高田駅:84.7%(H22)⇒84.7%(H32) 尺土駅:90.7%(H22)⇒93.7%(H32) ■公共交通の利便性満足度:H27からH32にかけて上昇

実施事業

事業① 尺土駅へのコミュニティバス乗入れ 実施内容 尺土駅に葛城市のコミュニティバスを乗入れ 実施主体 葛城市 実施効果 利便性の向上、公共交通利用者数の増加 実施期間 H28. 4 ～ H33. 3 (H28. 2～実施)	事業④ 馬見丘陵公園や竹取公園などを拠点としたネットワークの検討 実施内容 馬見丘陵公園や竹取公園を拠点としたまちづくりにおける交通ネットワークを検討 実施主体 奈良県、広陵町 実施効果 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加、利便性の向上 実施期間 H28. 4 ～ H33. 3	事業⑦ ノンステップバスの導入 実施内容 高田イオンモール線、高田新家線、高田五條線にノンステップバスを導入 実施主体 奈良交通 実施効果 バリアフリー化の促進 実施期間 H28. 4～H33. 3
事業② 市民交流センターにコミュニティバスの乗り継ぎ拠点の新設を検討 実施内容 サティ跡地に建設中の市民交流センターに大和高田市のコミュニティバスを乗入れ、ここを乗り継ぎ拠点として現行の路線再編を検討 実施主体 大和高田市 実施効果 中心市街地等の周遊性の向上、市民交通サービスの充実 実施期間 H28. 春	事業⑤ 広陵町コミュニティバス「広陵元気号」再編事業 実施内容 コミュニティバスの運行内容を見直し再編を行う 実施主体 広陵町 実施効果 公共交通利用者数の増加、利便性の向上 実施期間 H28. 10 ～ H31. 3	事業⑧ 鉄道駅バリアフリー化 実施内容 大和高田駅に内方線付点字ブロックを設置 実施主体 近畿日本鉄道 実施効果 バリアフリー化の促進 実施期間 H32. 4 ～ H33. 3
事業③ 新たな路線バスの運行 実施内容 橿原神宮前駅～イオンモール橿原、橿原神宮前～御所IC付近の路線バスを運行 実施主体 奈良交通、橿原市地域公共交通会議 実施効果 公共交通利用者数の増加、利便性の向上 実施期間 H28. 4 ～H29. 3(毎年PDCA)	事業⑥ 路線運行費補助 実施内容 奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、高田イオンモール線、高田五條線の路線運行費を補助 実施主体 奈良県 実施効果 地域公共交通の維持 実施期間 H28. 4 ～ H28. 9(毎年PDCA)	事業⑨ 公共交通の利用促進 実施内容 県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進 実施主体 県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者 実施効果 公共交通利用者数の増加 実施期間 H28. 4 ～ H33. 3



路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	ダイヤモンドトレール等への観光による誘客 京奈和自動車道の活用や御所南IC周辺施設へのアクセス確保
関係市町村	大和高田市、橿原市、五條市、御所市、葛城市
主な沿線施設	大和高田駅、高田駅、高田市駅、大和新庄駅、忍海駅、御所駅、近鉄御所駅、五条駅、大和高田市役所、葛城市役所新庄庁舎、御所市役所、五條市役所、奈良県立医科大学附属病院、大和高田市立病院、済生会御所病院、五條病院、高田高校、奈良文化高校、青翔高校、御所まち、五條新町、金剛山地、オークタウン大和高田、イオンモール橿原、スーパーセンターオークワ御所店
評価指標	■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値) 出勤: 35.9% (H22)⇒35.9% (H32) 登校: 92.4% (H22)⇒92.4% (H32) 通院: 36.3% (H22)⇒36.3% (H32) 買物(平日): 35.7% (H22)⇒35.7% (H32) 買物(休日): 20.6% (H22)⇒20.6% (H32) 業務: 23.7% (H22)⇒29.0% (H32) 観光: 46.6% (H22)⇒46.6% (H32) ■外出率: 78.4% (H22)⇒78.4% (H32) ■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>路線沿線の人口増加率] 高田五條線: 144,206人 (H26) ⇔ 大和高田市・五條市・御所市・葛城市: 162,693人 (H26) 八木五條線: 20,216人 (H26) ⇔ 大和高田市・橿原市・五條市・御所市・葛城市: 288,043人 (H26) 八木新宮線: 81,964人 (H26) ⇔ 大和高田市・橿原市・五條市・御所市・葛城市・十津川村: 291,707人 (H26) ■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率] 大和八木駅: 6,764,828人 (H25) ⇔ 大和高田市・橿原市・五條市・御所市・葛城市・高取町・明日香村・大淀町・十津川村: 325,635人 (H25) 大和高田駅: 3,287,243人 (H25) ⇔ 大和高田市・橿原市・五條市・御所市・葛城市・広陵町: 323,603人 (H25) 近鉄御所駅: 818,164人 (H25) ⇔ 大和高田市・橿原市・五條市・御所市・葛城市・高取町・十津川村: 301,415人 (H25) 五条駅: 663,935人 (H25) ⇔ 大和高田市・橿原市・五條市・御所市・葛城市・十津川村: 293,989人 (H25) ■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値) 大和八木駅: 89.6% (H22)⇒89.6% (H32) 大和高田駅: 84.7% (H22)⇒84.7% (H32) 近鉄御所駅: 74.9% (H22)⇒74.9% (H32) 五条駅: 67.0% (H22)⇒67.0% (H32) ■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇

実施事業

事業①	観光客の誘客に向けた検討
実施内容	観光利用の家族連れなど、新たな客層の増加に向けた検討
実施主体	関係市町村、奈良交通
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4～H33. 3

事業②	公共交通のあり方の検討
実施内容	京奈和自動車道の整備を考慮した今後の公共交通のあり方を検討
実施主体	関係市町村、国、奈良県、交通事業者
実施効果	利便性の向上、ニーズの把握
実施期間	H28. 4～H33. 3

事業③	路線バスを活用した沿線市町村のPR
実施内容	八木新宮線に沿線市町村をPRするラッピングバスを導入
実施主体	奈良交通
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3(H27. 11より実施)

事業④	路線運行費補助
実施内容	奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、高田五條線、八木新宮線の路線運行費を補助
実施主体	奈良県
実施効果	地域公共交通の維持
実施期間	H28. 4 ～ 28. 9(毎年PDCA)

事業⑤	ノンステップバスの導入
実施内容	高田五條線、八木五條線、八木新宮線にノンステップバスを導入
実施主体	奈良交通
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H28. 4～H33. 3

事業⑥	鉄道駅バリアフリー化
実施内容	近鉄御所駅にスロープを設置し段差を解消
実施主体	御所市、近畿日本鉄道
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H29. 4 ～ H30. 3

事業⑦	鉄道駅バリアフリー化
実施内容	大和高田駅に内方線付点字ブロックを設置
実施主体	近畿日本鉄道
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H32. 3 ～ H33. 3

事業⑧	全国ICカード共通化
実施内容	SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H28. 春

事業⑨	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ～ H33. 3

